

中学入試 様変わり

大学入試改革 文部科学省などが進める大学入試センター試験や個別大学入試などの改革。2020年度から始まる大学入試センター試験に代わる新テストでは、国語、数学に記述式を導入、英語は民間試験も活用し、「話す」「書く」能力もみる。24年度からは、日本と世界の近現代史を融合した「歴史総合」、数学や理科の枠を超えて多角的に学ぶ「理数探究」などの科目からも出題される。

柔軟思考・英語力問う

「富士山の登山に必要な食事や持ち物は」。東京都大等々力中（東京）が来年、実施する思考力・協働力試験の模擬問題。受験生は3人のグループごとに、富士山の気温や酸素濃度、低体温症のメカニズムなどに関する資料を基に議論し、各自が出した答えを書き、「瓶克文教頭は「資料を読み解く力や肯定否定の両面から物事を考察する批判力、協調性などを評価する」と話す。

聖学院中（同）は今年2月の入試で、ある国の降水量やコメの生産量などのグラフを見せ、その国の課題と解決法をアロックス玩具と文章で表現させた。アロックスで船を作り、「雨期は大きい船で国民全員、他国に

私立中学の入試が多様化し、国算理社の教科の枠を超え、複数教科の融合問題で思考力や表現力などを測ったり、英語を導入したりする学校が急増している。2020年度の大学入試改革や小学校での英語の教科化を見すえた動きで、私立中学の受験者が減少する中、受験の選択肢を増やすことにより塾に通っていない子どもも取り込みたいと懸命な学校もある。

「富士登山に必要な物は」

2017年に始まる特色ある中学入試

学校名	模擬問題・試験の概要
大妻中野 (東京都)	乗客がはみ出したまま走るインドの列車を見て、思ったことを350～400字で書く
鎌倉女子大 (神奈川県)	4コマ漫画を見て、自分の考えを文章にする。面接で理由を説明する
八雲学園 (東京都)	「『未来の私』の作り方」などの問題文が出され、400～600字で自己表現する
西大和学園 (奈良県)	模試の成績や資格、受賞歴などで選ばれた児童に作文や集団討論などを課す
女子聖学院 (東京都)	朗読された文章を聞いて設問に答える。与えられた三つの単語を使って話を作る

「富士山の登山に必要な食事や持ち物は」。東京都大等々力中（東京）が来年、実施する思考力・協働力試験の模擬問題。受験生は3人のグループごとに、富士山の気温や酸素濃度、低体温症のメカニズムなどに関する資料を基に議論し、各自が出した答えを書き、「瓶克文教頭は「資料を読み解く力や肯定否定の両面から物事を考察する批判力、協調性などを評価する」と話す。

中学入試の模試を行う首都圏模試センター（同）によると、思考力を問う入試は東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城の1都4県の私立中学約310校中、15年は53校、16年は86校が導入、17年は110校ほどと、2年で倍増する見通しだ。大学入試改革では、従来の知識や暗記を重視する試験から、思考力や表現力を問う内容に変わることになっており、東京都大等々力中などの試験はこの方向を踏まえたものだ。自治体が設置する公立中高一貫校の入学選抜「適性検査」

と似た出題内容で、私学側には公立と併願しやすいようにとの工夫もある。一方、英語入試は、同センターの調べでは、14年に15校が実施。15年33校、16年64校と増え、17年は80校ほどになりそうという。英語が得意な子どもにも受験してほしいとの考えだ。入試で求める英語力は学校で異なるが、宝仙学園中理数インター（東京）は、受験生に英語で自己PRさせる。富士晴英校長は「中学入試から変え、大学入試改革に対応できる能力を育てる。受験塾に通っていない子ども、多様な能力を持った

と似た出題内容で、私学側には公立と併願しやすいようにとの工夫もある。一方、英語入試は、同センターによると、1都4県の私立中学受験者は推計で、ピークの2007年の約5万5000人から14年は約4万2800人に減少。ただ、ここ2年は私学の取り組みが実り、16年は約4万3700人に増えた。英検や漢検、そろばんなど習い事の実績を加点する学校もあり、受験塾・SAPIX教育事業本部の広野雅明本部長は「生徒の確保には、塾に行っていない子どもをどう取り込むかも重要。入試の多様化は加速するだろう」とみている。

●この記事・写真等は読売新聞社の許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。